

ホットな消費者 News

消費者問題の事例対処法を解説します。

ウォーターサーバーの勧誘トラブルにご注意

ショッピングモールでウォーターサーバーの契約切り替えを勧められ、「現在使用中のウォーターサーバーの解約料や取り替え代金を負担します」と説明を受けたうえで、レンタル契約をしたつもりで契約を結んだ。ところが後日、引っ越すことが決まり解約を申し出たところ、実際にはウォーターサーバーは「購入契約」だったことが判明。60回払いの分割購入で、残りの代金として、10万円の請求を受けてしまった。契約時には、「購入契約であること」や「代金が60回払いであること」の説明はまったくなかった。このような場合、解約はできるのか。

対処法・アドバイス

- ウォーターサーバーのレンタル契約は、契約期間が複数年と定められていたり、中途解約すると解約料が発生したりする場合があります。契約する時は、契約金額や解約条件など、契約内容をよく確認しましょう。
- 場合によってはクーリング・オフできる場合があります。困ったときは、お近くの消費生活センターなどに相談しましょう。

お問い合わせ

消費者ホットライン ☎ 188 久留米市消費生活センター ☎ 0942-30-7700 福岡県警察 ☎ 110 または # 9110

広川文芸

ひろかわ俳句会

蝌蚪わきてしゃがむ親子やはしゃぎをり

空蟬を帽子いっばい集むる児

神楽舞ふ鈴のリズムや蟬しぐれ

里山に秋の気配を感じをり

七夕や卒寿の姉の恋の歌

モノクロの信号映ゆるサングラス

花合歓の揺れに誘われ夢の中

熊蟬や菩薩の御手に縋り鳴く

朝焼けの空や一面あかね色

窯ひらくしたたる汗や抹茶碗

ウトウトと相撲中継肘まくら

藍染めの浴衣に浮かぶ母の顔

櫻の会

ココア飲み薬手にして厨^{くや}辺にまずは夫婦の朝が始まる

五十個のじゃがいも饅頭手作りし朝日さす頃配り来る友

吾が骨の画像はあらはに写されて生きてゐる身はとまどひてをり

ひかりつつ玉虫ふつと夫の手にスマホに収め自然界へと

湯の里の海辺の席でおもてなし客船ながめドリンク味はふ

師や友の励ましの声力にし長き廊下を手術室へと

白雲のたなびくごとに万病を治す天使が息をふりかく

中体連に力の限り声を出す次こそ取るぞレギュラー入りを

剪定の憂^{うれ}き目に遭^あひしつばみたち咲かせてあげようグラスの中に

坂田 康治

一瀬砂智子

原口あつ美

酒井 司

結束 節子

溝田 幸

渡辺 弘子

水本 艶子

福田美知子

原口 正信

西村千佳子

青木佳代子

山崎美代子

一瀬砂智子

中倉 明美

濱武美智子

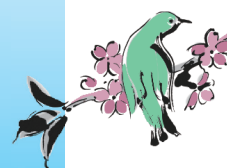
細川^{のり}徳子

小西 俊郁

丸山 雪乃

広瀬 花恵

青木佳代子



ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

広川町にある巨樹・珍樹 その 13

～ グリートパーク内の珍しい樹木 2 ～

シャシャンボ（ツツジ科）

樹高 約5・0メートル

幹周 0・3メートル

常緑灌木で、広川町ではチャンカンと呼ばれるたり、ヤガヤガマンジュウと呼ばれます。

秋に紅葉し、赤紫色に熟した実は、子どもたちにとっては格好の自然の恵みでした。

灌木（樹高1・2メートル

以下の木の総称）に分類されているように、大木は珍しく、グリートパーク内には当該木を筆頭に、数株の自生が見受けられます。

ちなみに近隣では、筑後市古島の老松神社境内に、樹幹は折損していますが、幹周が1・33メートルを測る木が所在しています。こんなに大きく生長する木もまれにはあるという証拠です。

カラスザンショウ（マツカゼソウ科）

樹高 約5・0メートル

幹周 0・3メートル

落葉高木で、樹幹には鋭い棘があって、一見するとサンショウ（山椒）に似ていますがその名前は、種子をカラス

が食べに来るからという説と、サンショウの偽物だからという説とがあるようです。グリートパーク内に数株の自生が見られます。

ボロボロノキ

（ボロボロノキ科）

樹高 約6・0メートル

幹周 1・08メートル

落葉小高木で、秋には紫黒色の実をつけ、冬期には葉を落としますが、その際に弱い小枝も落とすという特性を持っています。樹名の由来は、すぐ折れる軟弱な枝に起因します。グリートパーク内には、

かなりの数の自生を見ることができます。ちなみに石人山古墳に所在する木が、町内で最も大きいとみえています。

ハイノキ（ハイノキ科）

樹高 約5・0メートル

幹周 0・81メートル

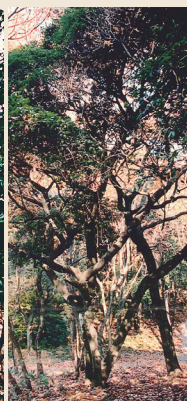
常緑高木でクロバイとも称します。樹の膚が黒くざらついていることから起きた名です。5月に香りの良い白い花をつけます。乾燥した葉は、黄色を出す染料としても使われていました。



▲ハイノキ



▲カラスザンショウ



▲シャシャンボ



▲ボロボロノキ

広川町古墳資料館だより

平安時代末期から鎌倉時代の間には、日宋貿易により中国から陶磁器が輸入されました。碗や皿などの陶磁器は日常の容器として、当時は珍重されていたようです。

一條区や当条区の遺跡からも陶磁器などの出土があり、器の生地が白くて透明な釉薬が使用された白磁碗や、釉薬が青色に発色した青磁碗などが出土しています。



▲白磁碗